

チームワークの大切さ ―大学に勤務している者としての立場から―

福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 講師 馬場 篤子



略歴

1984年 福岡県立城南高等学校卒業
1990年 福岡歯科大学歯学部卒業(第12回生)
1994年 福岡歯科大学大学院歯学研究科
歯学専攻博士課程(小児歯科学)修了
1994年 福岡歯科大学附属病院医員
1994年 福岡歯科大学助手
2005年 福岡歯科大学講師
現在に至る

日本小児歯科学会専門医指導医
福岡歯科大学同窓会理事

福岡歯科大学は、西日本唯一の私立歯科大学として1973年に開学して以来、40年を経て、3,942名の卒業生を世に送り出し、歯科医学教育・研究の場として成長してきました。

当時の小児歯科学教室は教授を含め医局員6名、歯科衛生士2名、研究補助員1名で、診療室も病院3階の大診療室の片隅みを使って、からのスタートでした。翌年には病院2階に小児歯科診療室が完成し、更には1979年に本学第1回生の卒業生8名の入局を機に、活気あふれる教室が始まりました。本学小児歯科学教室には名物の男性の先生もいらっしゃいます(残念ながら他界された先生もいらっしゃいます)が、やはり女性の先生方のご努力ご支援なくしてはこの医局の伝統と繁栄は語れません。そう、みなさん御存知のあの先生方です。第一線で活躍されている先生方のご様子は、我々にとって希望の門を開く鍵となっています。また、小児歯科臨床ほど、大学と開業医が一致団結して患者様のために仕事ができる診療科の一つと考えています。

今回のシンポジウムでは、福岡歯科大学小児歯科 OG の先生方の現況と、去年行った女性学会員全員を対象にした「本音トークアンケート」の結果も交えながら、将来、小児歯科専門医を目指す若手女性小児歯科医に「小児歯科の魅力」をお話できればと思います。